

令和4年度 自己評価表

学校法人 東栄国際学園 埼玉日本語学校

●学校の教育理念

- ・正しく美しい日本語を習得し、高等教育機関への進学・国内外への就職等、本人の希望の進路の実現を目指す。
- ・日本語を通じて、国際社会で求められる知識・技能・教養を身につけ、世界の舞台で活躍できる有能な人材を育成する。

●評価項目の達成及び取組状況

評価点：5…達成している、4…ほぼ達成している、3…どちらとも言えない、
2…取り組みを検討中、1…改善が必要

(1) 教育理念・目標

評価項目	評価点
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	5
・学校の将来構想を抱いているか	5
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	5

【具体的な取り組み・課題】

入国規制緩和により留学生の受け入れが再開されているが、日本社会における留学生の位置づけがコロナ前と変わってきているように思われる。留学生に対する社会のニーズを見つめなおし、それに合った指導をするためのカリキュラムを検討する。

(2) 学校運営

評価項目	評価点
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	5
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	5
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	5
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	5
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	5
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	5
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	5
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	5

【具体的な取り組み・課題】

今後見込まれる学生数の増加で教員の新規採用の必要がある。学生・職員の増加による業務のさらなる

効率化も課題である。職員数の増加に対応して、風通しの良い組織運営を心がけ各担当が連絡や相談を密に行うよう、意識改革を進める。情報公開と個人情報保護のバランスも検討課題として挙げられる。

(3) 教育活動

評価項目	評価点
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	5
・カリキュラムは体系的に編成されているか	5
・授業評価の実施・評価体制はあるか	5
・成績評価・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	5
・目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	5
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	5

【具体的な取り組み・課題】

教員の指導方法や提出された課題の添削方法などにバラつきが生じないように確認をしている。新規採用者を中心に授業見学、授業内容検討会等を実施している。同一クラスを受け持つ教師のミーティングを報告のみでなく検討・検証の時間を設けるようにしている。今後の認定日本語教師の制度も見据え、教員の質の確保が課題である。

(4) 学生支援

評価項目	評価点
・進学に関する支援体制は整備されているか	5
・学生相談に関する体制は整備されているか	5
・各種試験の合格率・成績向上に向けて対処しているか	5
・学生の心身の健康管理を担う組織体制はあるか	5
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	5
・学生の生活環境への支援は行われているか	5
・退学率の低減が図られているか	5
・財政保証人および保護者と適切に連携しているか	5
・大学・専門学校との連携による取組が行われているか	5

【具体的な取り組み・課題】

生活面での相談が増えている。アルバイトや人間関係、生活に関する問題など、以前よりも多岐にわたっている印象である。生活指導担当の職員だけでなく、常勤・非常勤の教師も普段の学生の何気ない様子を報告するように徹底し、問題点を拾い上げられるよう教員間で密に連携をとっている。コロナが落ち着いてきたので、課外授業や学校見学など、学生の留学生活において有意になるイベントは積極的に行うようにしていきたい。

(5) 教育環境

評価項目	評価点
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	5
・防災に対する体制は整備されているか	5

【具体的な取り組み・課題】

自治体発行の災害対応パンフレット等を参考に、絵や映像で災害時の行動についてのレクチャーや訓練を実施している。消防署主催の防災イベントにも参加している。消防点検や教室内の防災設備の点検は、消防署や業者立ち合いのもと適切に行っている。水や電池などの備蓄の確認、担架や救急用品の準備も行っている。

(6) 学生の受け入れ募集

評価項目	評価点
・学生募集活動は、適正に行われているか	5
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	5
・学納金は妥当なものとなっているか	5

【具体的な取り組み・課題】

当校の教育理念に沿った学生の受け入れ方針を定めている。一定以上の日本語能力・経費支弁能力を有する学生を選抜し、提出された申請書類は適正に審査されている。オンラインや現地で直接面接を行うことで学生や経費支弁者の状況を把握し、必要に応じて卒業校や支弁者の勤務先を訪問する等している。正確な学校情報・教育内容・教育成果・学納金などについては入学希望者の理解できる言語で開示し、面談時に説明を行っている。募集機関に関しても厳正に選定している。

(7) 財務

評価項目	評価点
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5
・財務について会計監査が適正に行われているか	5

【具体的な取り組み・課題】

経営母体である学校法人東栄国際学園において中長期的にみて財政基盤に問題はない。予算・収支計画については法人の理事会・評議員会の審議を経て有効かつ妥当なものとなっている。会計は会計事務所に委託し適正な会計処理を行っており、監事による会計監査を受け学校法人の理事会・評議員会において承認を受けている。

(8) 法令等の遵守

評価項目	評価点
・法令、各種学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	5
・自己評価結果を公開しているか	5

【具体的な取り組み・課題】

法令、各種学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。個人情報保護については規定を策定し、書類等の保管場所は常に施錠し管理を徹底している。個人データを保管している PC にはアクセス権限を設けている。自己評価については第三者評価とともにホームページにて公開している。

日本語教育機関教育活動評価
自己点検・評価票

日本語教育機関名：				
点検・評価項目		確認・評価		
理念・教育目標				
〈理念・ミッション〉 様々な分野でグローバル化が進むなか、正しくて美しい日本語を習得し、国際社会に貢献できる人材を育成することで、日本や諸外国の社会発展に寄与することを目標とする。		—		
〈教育目標〉 正しく美しい日本語を習得し、高等教育機関への進学・国内外への就職等、本人の希望の進路の実現を目指す。		—		
〈育成する人材像〉 日本語を通じて、国際社会で求められる知識・技能・教養を身に付け、世界の舞台で活躍できる有能な人材を育成する。		—		
1. 学校運営		確 認		
1.1 日本語教育機関の告示基準に適合している。【注】		〔 <input checked="" type="checkbox"/> 〕		
2. 入学者の募集		A	B	C
2.1 教育内容を含む最新、かつ、正確な学校情報を開示している。これらは想定する入学志願者の理解できる言語で行うよう努めている。		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2.2 海外の募集代理人（エージェント等）の行う募集活動が適切に行われていることを把握している。		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 入学者選考		A	B	C
3.1 入学者の選考に関し、学習能力、勉強意欲、経費支弁能力、日本語能力等について根拠資料で確認する等、適切な方法により確認している。		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3.2 入学者の選考に当たっては、学校関係者（職員等）が面接等を行うよう努めている。		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 納付金		A	B	C
4.1 入学検定料、入学金、授業料その他納付金の金額、納付時期、納付方法、及び学費以外に入学後必要な費用を募集要項等に明記している。		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4.2 関係諸法令に基づいた学費返還に関する規定を定め公開している。		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4.3 上記4.1及び4.2については入学志願者、在籍者及びその経費支弁者の理解できる言語で情報公開に努めている。		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 学生支援		A	B	C
5.1 日本社会を理解し、適応するための取組を行っている。		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5.2 進路指導を適切に行っている。		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5.3 重篤な疾病や傷害及び交通事故のあった場合の対応を定めている。		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5.4 入管法上の留意点について学生への伝達、指導を定期的に行っている。		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5.5 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的に行っている。		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

6. 教員	A	B	C
6.1 校長，主任教員，専任教員及び非常勤教員の職務内容を明確に定めている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6.2 教職員の教育力及び支援力強化のための研修等を実施するとともに，他機関の実施する研修会等への参加を促している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6.3 教員評価を適切に行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 教育活動	A	B	C
7.1 理念・教育目標に合致したコースを設定し，カリキュラムを体系的に編成している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7.2 授業開始前までに学習者の日本語能力を試験等で判定し，適切なクラス編成を行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7.3 教員の能力，経験等を勘案し，適切な教員配置をしている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7.4 授業記録簿等を備え，実施した授業を正確に記録している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7.5 理解度，到達度の測定と評価を実施期間中に適切に行い，その結果を的確に学生に伝えている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7.6 授業評価を含む教育活動の評価を定期的に行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 教育施設	A	B	C
8.1 教室内は十分な照度があり換気がなされているとともに，語学教育に必要な遮音がなされている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8.2 授業時間外に自習できる部屋の確保に努めている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8.3 法令上必要な設備等を備えている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. 安全・危機管理	A	B	C
9.1 対象となる学生全員が国民健康保険に加入している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9.2 感染症発生時の措置を定めている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9.3 気象警報発令時の措置，災害発生時の避難方法等を定め，教職員及び学生に周知している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10. 法令の遵守等	A	B	C
10.1 法令遵守に関する担当者を定めている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10.2 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組みを行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10.3 個人情報保護のための対策をとっている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10.4 地方出入国在留管理局，その他関係官公庁，日本語教育振興協会への届出，報告を遅滞なく行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

評価方法

- ・A：「達成されている」あるいは「適合している」項目。
- ・B：「一部未達成」であるが，1年を目途に達成あるいは適合が確実な項目。
- ・C：「未達成」あるいは「適合していない」項目。

【注】この項目には，「告示基準」適合状況点検表(別紙3)の作成が必要です。作成後確認として []欄に「✓」を記入してください。



埼玉日本語学校

総合所見（案）〔日本語教育機関教育活動評価委員会〕

【達成状況】

2023年1月現在の在籍者数は、61名（ネパール37、ベトナム13、ミャンマー6、中国1、その他4）で定員充足率はまだ22%にとどまっているものの、コロナ禍から回復傾向にある。学校ホームページ及びパンフレットがこれまでの英・中（簡体）・韓3言語対応からベトナム語を加えた4言語対応となったことで、より幅広い層に周知可能となった。

入学者の募集は、信頼のおける卒業生や現地日本語教育機関を代理人とし、選考においては、日本語力テストのほか、奨学金給付団体とともに厳格な面接審査を行っている。新聞奨学制度も支えとなり、進学意欲の高い入学者を集めることに成功している。

学生支援に関し、日常的な健康観察に加え、重篤疾病対応マニュアルを備えるほか、学生ハンドブック等で生活上の注意を促し、安全な留学生活を支えている。学生の法律遵守についても継続的に指導を行い、過去数年、不法残留者及び所在不明者は発生していない。

進路指導においては、面談等で個々の進学希望を把握し、資料配付やオープンキャンパスを案内する等、丁寧な指導を実施している。その指導内容や進捗状況はノートに記録し、担当者間で情報共有を図っている。進学率は約9割で、2021年度の卒業生56名中50名が進学している（大学10名、専門学校40名）。予期せぬ感染症拡大により新たな授業形態が試行される時期にあっても、高い数値を維持していることは評価できる。

前回の評価時に課題となった教員の外部研修への参加促進に関しては、19年度より多様な外部研修への参加があり、速やかに改善されたことが認められる。また、同じく前回の評価時に課題となった総合的で客観的な教員評価の規定の整備に関しては、まだ整備途中であるものの、評価者や評価方法、評価基準の多面化、客観化が大いに進み、評価できる。

クラス分けは日本語能力テストによって行っているが、進級時のクラス分けでは学生の個性にも配慮し、担任教師の日常観察や平常点も加味している。コース概要・レベルについての説明文及び授業時間割には各レベルの使用教材が明記されていないが、授業記録等により、概ね順当な教材が使用され、コースの目標を達成するためのカリキュラムが編成されていることを確認した。

【課題・改善要望等】

生徒納付金の返還に関して、募集要項に学則21条の規定を追加記載すること、学校ホームページに納付金返還に関する事項を記載することの2点が前回指摘した課題であったが、今回まだ改善に至っていなかったことは残念である。現在、ホームページを刷新する予定との回答があり、問題意識は共有できたものとする。納付金の返還は、学校・入学者双方にとって重要事項であるため、入学者の解する言語で正確な情報を早急に公開するよう要望する。

学生支援に関し、オリエンテーション資料や学生ハンドブックは、簡潔に書かれているものの、入学直後の学生にとっては通読に時間を要する文章も混ざっている。一度精査することを勧める。

教員の職務内容の可視化に関し、さらに具体的な業務内容を記述した文書を作成することを勧める。業務の洗い出しは、その業務の妥当性や作業量の見直しにも有効であるし、その達成度において教員評価にもつなげることができる。